



第2回GPIF Finance Awardsの選考結果について

区 分	報 告	対象範囲
エグゼクティブサマリー - 第5回経営委員会において、第2回GPIFファイナンスアワードを実施する旨を報告。 - 公募の実施や、選考委員会を経た結果、FRBの野澤良雄氏への授与を決定。		
バックグラウンド - 年金運用分野の優秀な若手研究者を表彰し、その功績・社会的意義を情報発信し、研究活動を振興することで、年金積立金の安全かつ効率的な運用のための理論的充実を図る。 - 選考委員は、ノーベル経済学賞受賞者を含めた国内外の有識者で構成（現在7名）。 - 第1回の際の候補者20名（沖本氏除く）に、今回新たな推薦者3名を加えた、計23名から選定。	フィードバック期間及び検証方法 なし	
	便益及びリスク - 便益：GPIFの知名度向上、年金運用に資する研究の裾野の拡大 - リスク：ファイナンス分野の研究者が少なく、同じ方法で行えばアワードの継続が危ぶまれる。	
戦略プラン 次回のGPIF Finance Awardsにおける選考対象者の条件（適格要件の緩和・研究対象範囲の拡大）等について今後検討。	K P I なし	
	その他 なし	